

# 児童労働のいまとSDGs達成に向けて ～私たちにできるアクション～

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が定める持続可能な開発目標(SDGs)のターゲット8.7は、2030年までに強制労働、現代の奴隷制、人身取引に終止符を打ち、2025年までにあらゆる形態の児童労働を終結させることを世界に呼びかけています。

2017年9月に児童労働、現代の奴隷制に関する世界推計が発表され、11月の「児童労働の持続的な撤廃世界会議(第4回会合、プエノスアイレス)」では活発な議論が行われ、「プエノスアイレス宣言」を採択し、成功裏に終わりました。

こうした児童労働撤廃に向けた機運が高まる中、世界の児童労働の現状を日本でもより多くの方々に知ってもらうために、国際労働機関(ILO)駐日事務所はILOジュネーブ本部から児童労働専門家を迎え、公開セミナーを開催します。



International  
Labour  
Organization

<b>日程</b>	2017年12月7日(木)	<b>参加費</b>	無料
<b>時間</b>	14:00-16:00(13:30開場)	<b>使用言語</b>	日本語・英語 / 同時通訳付
<b>会場</b>	国連大学5階エリザベス・ローズ会議場	<b>定員</b>	100名(定員になり次第締切り)

## セミナープログラム

14:00-14:10	<b>開会の挨拶&amp;総司会</b> 田口晶子 ILO駐日代表
14:10-14:35	<b>講演 セッション1</b> : 「児童労働の現状とILOの取組み」 フランチェスコ・ドヴィーディオ ILOジュネーブ本部 労働基本原則・権利局 ソリューションズ・イノベーション(オペレーション)部長
14:35-15:00	<b>講演 セッション2</b> : 「第4回児童労働世界会議報告と日本への示唆」 堀内光子 児童労働ネットワーク(CL-Net) 代表 岩附由香 認定NPO法人ACE代表
15:00-15:55	<b>パネルディスカッション</b> : 「SDGs8.7 : 児童労働をなくすために私たちができること」 モデレーター 大崎麻子(特活) Gender Action Platform理事 <b>パネル</b> 新井ちとせ 日本生活協同組合連合会(日本生協連) 副会長 濱野あづさ プロデューサー・教育プランナー フランチェスコ・ドヴィーディオ / 堀内光子 / 岩附由香
15:55-16:00	<b>閉会の言葉</b> 長谷川真一 日本ILO協議会 専務理事

お申し込みは下記のいずれかをお願いします

メール : [tokyo@ilo.org](mailto:tokyo@ilo.org) (お名前、ご所属、連絡先を明記) または  
申し込みフォーム : <http://bit.ly/2ANVyvd> にて **12月6日(水)** までにお申し込みください。

**主催:** 国際労働機関 (ILO) 駐日事務所  
**協力:** 児童労働ネットワーク (CL-Net)  
**後援:** 外務省、日本ILO協議会

Twitter / Facebookで  
情報発信中!!  
@ILO\_Tokyo  
@ILOJapanFriends

